

平成30年度

(第56事業年度)

事業報告書

公益財団法人 マリンスポーツ財団

目 次

一 般 概 況	1
---------------	---

第1章 事 業

I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業	6
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業	10

II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業	12
2 特殊小型船舶操縦講習事業	12
3 マリンスポーツ施設の運営事業	14

III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業	16
---------------------------	----

第2章 組 織

1 理事会及び評議員会	20
2 役員等の動向	21
3 監査	21
4 関係団体との交流	21
5 環境に配慮した活動	21
6 職員等の動向	21
別表1 役員名簿	22
別表2 評議員名簿	22

参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況	23
------------------------------	----

事業報告

(第56事業年度)

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

一般概況

当財団の平成30年度の諸事業は、関係各位の多大なる協力のもと、所期の目的を達成して、ここに終了した。

水辺の事故は相変わらず後を絶たず、海水浴をはじめとする水辺離れの傾向は顕著であり、マリンスポーツへの関心も低迷している。

このような背景のもと、当財団では、「日本の水辺環境の『進化』と『親化(しんか)』」を合言葉に、より多くの人々が安心して水辺に親しむことができるよう、国内外の関係機関と連携し、水辺の安全性の向上と水難、海難事故の防止に重点を置いて事業を遂行した。

主たる事業としては、「いつでも・どこでも・だれもが」安全、快適に水辺の余暇を楽しめるよう、特に指定管理施設を中心に水辺の安全教育等による啓発活動を行うとともに、マリンスポーツアクティビティの体験型イベントを通じてマリンスポーツの普及を図った。

また、公的機関等に対する安全運航講習会や救助技術講習会を行うとともに、海上保安庁をはじめとする水上安全関係機関・団体と連携、協調して事業を推進し、安全意識、事故防止対策の向上を図った。

指定管理施設の大阪府営二色の浜公園、横須賀市立ボートパーク(深浦・浦賀)、新潟県柏崎市みなとまち海浜公園の管理業務においては、イベント等で周辺住民の施設運営への理解を深めるとともに、利用者に対してはルール・マナーの啓発を行い、施設の適正な運営管理を行った。

なかでも大阪府営二色の浜公園においては、海に親しむ公園の特性をいかしたサービスの提供及びその収益を活用した利用者へのサービス向上の新たな取り組みが評価され、大阪府知事より知事賞を受賞した。

これらの事業活動についてはホームページ、フェイスブック等を積極的に活用し、有効な周知を図ることができた。

第 1 章 事 業

I 公益事業

1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業 1）

本事業では、関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと、安全意識を高めるための水辺の安全教室や、マリンスポーツ体験イベント等を開催し、多くの参加者に対してマリンスポーツの魅力を体感させることができた。

指定管理施設におけるイベントでは、マリンスポーツの魅力を伝えるとともに、水辺のルール・マナーや安全、環境保全に関する啓発を行い、周辺住民に施設管理活動に対する理解を深めた。二色の浜公園については、新たにマリンスポーツ体験事業を開始し、公園来場者に対して気軽にマリンスポーツが体験できる機会を提供した。

また、水難事故防止対策としての「WEAR IT プロジェクト」や「ライフジャケットレンタルステーション」を継続かつ積極的に推進し、ライフジャケットの重要性周知に努めた。

(1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

① 親水イベントの開催・支援

a. 親水イベントの開催支援・協力

(a) マリンスポーツフェスティバル in 浦賀

実施期日	4月28日（土）
実施場所	神奈川県横須賀市浦賀港
実施内容	・スーパーキッズボート体験操船 ・水上オートバイ体験乗船 ・ヨット、及びプレジャーボートクルージング ・カヌー競技大会 ・水辺の安全教室 ・アクアボード、パワーボートデモンストレーション
参加人数	266名（昨年度59名）

(b) 体験乗船会 in 二色の浜（READY, SET, WEAR IT in 二色の浜と併催）

実施期日	6月9日（土）～10日（日）
実施場所	大阪府貝塚市二色の浜公園
実施内容	・スーパーキッズボート体験操船 ・水上オートバイ体験乗船 ・カヌー、SUP・BIGSUP乗船
参加人数	344名

(c) NISHIKINOHAMA マリンスポーツ ACT

実施期日	10月14日(日)	
実施場所	大阪府貝塚市二色の浜公園	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・BIGSUPバトル ・カヌー・SUP体験 ・ビーチヨガ体験 	
参加人数	BIGSUPバトル	4組
	その他	16名

b. 共催、協力イベント

期 日	行事名称	場 所	参加者数	前年度
5/19-20	マリンスポーツフェスタ in 碧南 (共催:(公社)日本モーターボート選手会)	愛知県碧南市 (常設訓練所)	774	718
5/27	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催:協同組合浅草商店街連合会)	東京都台東区 (隅田川)	334	405
7/14-15	横須賀うみかぜカーニバル2018 (共催:横須賀市、Marisクラブ湘南)	神奈川県横須賀市 (うみかぜ公園)	754	1,044
7/16	「いずみさの関空マリナー」海洋体験 (主催:泉佐野ウォーターフロント(株))	大阪府泉佐野市 (いずみさの関空マリナー)	64	79
合 計			1,926	2,246

② 「WEAR IT」(ライフジャケットの着用)活動の推進

a. 「READY, SET, WEAR IT」キャンペーンへの協力

ライフジャケットの必要性や、溺水事故防止を目的とするライフジャケットの常時着用を呼びかける国際キャンペーンに参加し、水辺の安全啓発を積極的に推進するとともに、国土交通省海事局、海上保安庁他、多くの関係機関、団体の協力を得ることができた。

実施期日 5月19日(土)・6月9日(土)・7月7日(土)・8月11日(土)

実施場所 東京都江東区(東京海洋大学越中島キャンパス)
 神奈川県平塚市(ひらつかビーチパーク)
 神奈川県逗子市(逗子海水浴場)
 神奈川県茅ヶ崎市(さざんビーチちがさき)
 愛知県碧南市(勤労青少年水上スポーツセンター)
 大阪府貝塚市(大阪府二色の浜公園)
 その他全国各地、世界各地

参加人数 5,627名(うち日本:3,239名)

b. ライフジャケットレンタルステーションの設置

海水浴場等においてライフジャケットの無料貸し出しを行い、ライフジャケットの有効性周知と安全意識の向上を図った。

	設 置 場 所		利用者数	前年度
1	神奈川県逗子市	逗子海岸海水浴場	1,887	2,462
2	静岡県湖西市	新居弁天海水浴場	100	137
3	静岡県浜松市	弁天島海水浴場	219	208
4	神奈川県鎌倉市	由比ガ浜海水浴場	14	272
5	神奈川県鎌倉市	材木座海水浴場	369	396
6	神奈川県鎌倉市	腰越海水浴場	1	139
7	神奈川県藤沢市	片瀬東浜海水浴場	5	11
8	神奈川県藤沢市	片瀬西浜海水浴場	20	21
9	神奈川県横浜市	海の公園 海水浴場	53	48
10	兵庫県神戸市	須磨海水浴場	292	407
11	神奈川県茅ヶ崎市	サザンビーチちがさき	315	168
12	神奈川県足柄下郡	湯河原海水浴場	-	481
(新)13	福島県相馬市	原釜尾浜海水浴場	59	-
(新)14	神奈川県平塚市	湘南ひらつかビーチパーク	5	-
	合 計		3,339	4,750

c. Maris マリンアカデミーの実施

「WEAR IT」活動の一環として、Maris マリンアカデミーを実施した。

参加者が水辺でのライフジャケット着用の重要性を中心に水辺の安全について学び、併せてマリンスポーツも体験し、マリンスポーツの楽しさの周知と同時に水辺の安全啓発を推進した。

(a) Maris マリンアカデミーin 深浦ボートパーク (※台風25号の影響で中止)

実施期日 9月30日(日)

実施場所 神奈川県横須賀市深浦ボートパーク

実施内容

- ・水辺の安全ワークショップ
- ・オリジナルレスキューペットボトル作り
- ・ペットボトルでレスキュー体験
- ・クルージング体験

(b) Maris マリンアカデミーin 海の公園

実施期日	10月14日(日)
実施場所	神奈川県横浜市海の公園
実施内容	・海と船の歴史についてのワークショップ ・水辺の安全ワークショップ ・水辺の環境ワークショップ ・カヌー操船体験、カヌーリレー大会
参加人数	42名

③ マリンスポーツ関連器材の貸出し

a. イベント等での利用

キッズボート、無線機、ライフジャケット、AED他

b. 特殊小型船舶免許の講習会、国家試験における利用

水上オートバイ

(2) マリンスポーツ施設を活用した一般利用者に対する安全啓発事業

① 海浜公園における安全啓発(受託事業)

柏崎市の受託施設において、利用者への指導や施設等の適正な運営を行った。

実施場所 新潟県柏崎市みなとまち海浜公園

実施時期 平成30年4月 7日～ 6月30日のうち17日間

7月 1日～ 8月31日のうち62日間

9月 1日～11月30日のうち31日間 計110日間

業務内容

- ・海岸入場口の管理
- ・マリンスポーツ交流センター(管理棟)の管理
- ・海岸エリアの監視
- ・利用者へのルール、マナーや安全指導

利用状況 過去5年間における当施設の利用状況は表のとおり

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録数(隻)	246	0	69	37	35
登録車両(台)	131	0	55	56	58
利用者(名)	3,620	0	230	370	393

※27年度は水深が浅く、安全確保の為に水上オートバイの利用を禁止した

※28年度から1日30隻限定で水上オートバイの乗入れを再開している

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

（1）小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

当財団の内部組織である安全運航教育機関K38 JAPANにより、米国の公的機関向け教育プログラムによる講習会や、公的機関に対する安全運航教育等を行った。

① 水上オートバイの救助技術講習会

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
10/1-3	ステージ1・2・3	神奈川県横須賀市	海上保安庁等	6
10/24-26	ステージ1・2・3	広島県廿日市市	岡山市消防本部	2
合 計				8

② 小型船舶の職業利用安全運航講習会

（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会、（一社）日本小型水難救助艇協会と共に、新たな連携プロジェクトであるJPBOT (Japan Professional Boat Operator Training center) を開設し、小型水難救助艇操縦士（RWC：水上オートバイ&IRB：膨張式小型ボート）の資格認定制度のもと実施した。

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
11/3-4	JPBOT ステージ1・2	静岡県浜松市	ライフセーバー等	4
11/19-20	JPBOT ステージ1・2	大阪府貝塚市	海上安全指導員等	8
合 計				12

③ 安全講習会

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
5/9	安全運航教育	広島県呉市	海上保安大学校学生	54
5/24	トーイング研修	二色の浜公園	運輸安全委員会調査官他	4
6/28	PWC研修	二色の浜公園	運輸安全委員会調査官他	6
6/29	PWC研修	二色の浜公園他	第五管区海上保安本部他	29
10/9	水上安全教室	新潟県糸魚川市	新潟県海洋高校生徒	40
10/10	水上安全教室	新潟県糸魚川市	新潟県海洋高校生徒	40
合 計				173

④ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

期 日	内 容	場 所
4/14-15	広島ボートショー レスキューデモンストレーション	広島県廿日市市
5/13	テクニカル全日本選手権シリーズ ROUND 1 救助体制	大阪府貝塚市

期 日	内 容	場 所
5/19-20	パワーボートレース in 小豆島 警戒、救助体制	香川県小豆島
5/27	水面の祭典 in 隅田川 安全管理	東京都台東区
6/10	パワーボート都連 ROUND 1 救助体制	茨城県神栖市
6/22	3機関合同海難訓練 (岸和田海上保安署・貝塚警察署・貝塚市消防本部)	大阪府貝塚市
7/1	みやじま国際パワートライアスロン 安全管理	広島県廿日市市
7/7	NOWS三宅島OWS大会2018安全管理	東京都三宅島
7/14-15	テクニカル全日本選手権シリーズ ROUND2 救助体制	神奈川県横須賀市
7/15-17	東京海洋大学海洋実習 安全管理	千葉県南房総市
7/28	第8回サマーフェスティバル宮島 安全管理	広島県廿日市市
8/5	パワーボート都連 ROUND 1 救助体制	茨城県神栖市
8/12	NOWS三浦OWS大会2018安全管理	神奈川県三浦市
9/1-2	湘南オープンウォータースイミングレース 安全管理	神奈川県逗子市
9/15-16	テクニカル全日本選手権シリーズ ROUND3 救助体制	大阪府貝塚市
11/25	テクニカル全日本選手権シリーズ ROUND4 救助体制	千葉県千葉市
12/1-2	芦ノ湖グリーンカップレース 救助体制	神奈川県箱根町

⑤ 水上オートバイの安全、マナー等向上対策

a. TPSP(Tokyo PWC Safety Project)プロジェクトへの協力

東京港湾区域、運河、河川における水上オートバイの安全で健全な利用の推進を図るため、「東京港・湾・河川における水上オートバイ安全航行プロジェクト(TPSP)」に参画し、一般ユーザー等に対する安全講習会や、水上オートバイによる周辺パトロールを通じて安全指導を行った。

(a) 水上オートバイによるパトロール

期 日	内 容	場 所
11/10	安全パトロール	東京一横浜
11/10	大岡川運河パレード	神奈川県横浜市

(b) 水上オートバイ安全講習会

回 数 4月／1回、5月／2回、6月／2回、7月／1回、8月／2回、
9月／1回、10月／1回、11月／2回、12月／2回、
1月／1回、2月／回、3月／3回、計18回

場 所 東京都江東区夢の島マリーナ他

受講者数 598名(昨年度787名・通算3,338名)

⑥ 水上安全に関する国内外との連携強化

a. IBWSS (International Boating & Water Safety Summit) への参加

平成30年3月4日(日)～7日(水)、アメリカ合衆国ケンタッキー州セントピーターズバーグにおいて開催された「第22回インターナショナルボートینگ&ウォーターセーフティーサミット(IBWSS)」に日本から当財団職員2名の他、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会から2名、海上保安庁から交通部安全対策課の2名が参加し、国際的な水上安全に関する動向、舟艇事情等の情報収集及び関連機関との連携強化を図った。海上保安庁は2度目の参加となり、日本における活動や、水上安全に対する近況を紹介し、北米、カナダ、ニュージーランド他多くの国家機関関係者と情報交換や交流を図ることができた。これにより、日本における水上安全の取組みに更なる強化に繋がった。

b. 水上安全・安全運航サミット Japan Boating & Water Safety Summit (JBWSS) の開催

当財団、(一社)水難学会及び(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会による連携協議会と、国土交通省海事局、海上保安庁が共催し、水上安全をテーマとして舟艇及び水上安全等に関わる団体が集い、情報の発信と共有、団体間の効果的な連携、協調により、更なる水難の防止、安全対策の向上を図ることを目的に実施した。昨年引き続き国土交通省海事局、海上保安庁が共催となった他、初の2日間の開催とし、講演やパネルディスカッション等内容の拡充を図った。

実施期日 6月9日(土)・10日(日)

場 所 東京都江東区 東京海洋大学越中島キャンパス

主 催 JBWSS連携協議会

参加者 56団体・139名(昨年度:34団体・114名)

⑦ その他安全対策の強化

a. K38 JAPANミーティング&トレーニング

期 日	内 容	場 所
6/8	JPBOT-IRBインストラクタートレーニング	東京都江東区
9/20-21	JPBOT-IRBインストラクタートレーニング	静岡県浜松市
9/21	シーマンシップ講演会	静岡県浜松市
10/4	メンバーミーティング	東京都港区
10/30-31	JPBOT-トレーニング・ミーティング	静岡県浜松市

b. 外部会議、調査等への参加、協力

期 日	内 容	場 所
4/13・12/11	小貝川下流域水面利用等協議会（下館河川事務所）	茨城県取手市他
5/11・7/4	遊泳中の安全対策に係る意見交換会（海上保安庁）	東京都千代田区
6/21・11/20	第四管区小型船舶事故防止に係る関係機関連絡会	愛知県名古屋市
6/23	海上安全指導員連絡調整会議（東京都海上保安部）	東京都江東区
6/27	利根大堰上流水面利用等協議会（利根川河川事務所）	群馬県館林市
8/22・10/4 12/21・2/18	動力ボート活用救助技術の高度化検討会（消防庁）	東京都千代田区
10/19	水上オートバイの安全対策に係る意見交換会 （海上保安庁）	東京都千代田区
11/9・3/8	日本マリン事業協会PWC部会	東京都中央区 神奈川県横浜市
3/8	平成30年度BAN全体会議	神奈川県横浜市

⑧ 災害時における救助活動の調査

7月に発生した西日本大豪雨により特に甚大な水害被害を受けた岡山県真備町に役員6名を派遣し、復旧ボランティア活動を行うとともに、現地被害状況や水害時における水上オートバイ、ボート等による救助活動に関する情報収集と調査を行った。

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

大阪府の指定管理施設において、公園管理業務に加え、水上オートバイ利用者への安全に関する指導、周辺海域の監視など適正な運営を行った。

9月4日、近畿地方に上陸した台風21号によって、特に倒木（400本程度）、設備・工作物などの倒壊・破損により、本施設も甚大な被害を受けた。来園者の安全確保のため、園内全面封鎖措置を行うとともに、施設職員による早急な危険物除去や復旧作業により3日目には園内封鎖解除を行うなど、緊急事態に対する適切な処置と管理運営を行った。

なお、一部危険がある施設を使用制限したことにより施設利用者数への影響があった。

（1）二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日
所在地	大阪府貝塚市
管理施設	公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他） 水上オートバイ施設、バーベキュー施設
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の運営及び維持管理 ・水上オートバイ施設利用者のルール、マナー及び安全指導 ・周辺海域の監視

① 公園利用状況

a. 公園利用者数（平成30年4月1日～平成31年3月31日実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	90,900	119,524	58,680	72,584	86,436	43,292	45,252	41,060
テニスコート	1,466	950	1,082	1,308	2,351	138	1,123	821
軟式野球場	197	363	618	362	565	375	489	270
球技広場	810	730	990	835	230	3,135	1,158	1,148
スポーツ広場	148	50	30	128	30	0	168	324

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
来園者	17,888	24,264	24,816	32,260	656,956	688,600	95%
テニスコート	1,278	837	1,250	1,963	14,567	14,005	104%
軟式野球場	262	409	478	510	4,898	4,855	101%
球技広場	1,310	1,810	2,343	910	15,409	13,239	116%
スポーツ広場	0	110	492	108	1,588	5,182	31%

b. 水上オートバイ専用施設利用状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用船舶	124	167	253	455	563	116	66	47
新規登録	22	30	44	52	50	9	12	9
更新登録	6	6	16	46	41	7	0	0

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用船舶	55	38	59	62	2,005	2,265	88.5
新規登録	2	5	6	4	245	246	99.6
更新登録	0	1	0	2	125	128	97.7

② 施設を活用した事業活動

期 日	行事名称	参加者数	前年度
6/9	READY, SET, WEARIT×TOYOTA ソーシャルフェス	142	71
6/10	二色の浜 ビーチFES. 2018	304	319
9/1	ワンちゃんと一緒に DAY キャンプ・ドッグラン・マリンスポーツで楽しもう！	28 (犬22)	-
12/10	二色の浜公園ウォーキングDAY	59	68
1/13・14	新春！お正月イベント 餅つき&ぜんざい作り	51	38
合 計		584	496

II 収益事業

収益事業では、指定管理業務に付随する駐車場、便益施設、船舶保管の運営業務のほか、水上オートバイの免許取得講習会を実施した。

1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業（収益事業1）

大阪府の指定管理施設において、駐車場、バーベキュー施設、売店などの便益施設の運営管理を行った。

台風21号被害による管理施設の利用制限により、秋季繁忙期における駐車場や野外炉の施設利用者が前年度より大幅な減少となり、収益面に影響があった。

(1) 海浜公園における駐車場管理・物販事業

実施時期 平成30年4月1日から平成31年3月31日
 実施場所 大阪府貝塚市（沢、脇浜、二色南地区）
 業務内容 駐車場、付属施設の運営及び維持管理

利用状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入場車両	8,054	10,547	5,213	6,454	7,916	4,006	3,947	3,603
野外炉利用者	2,234	3,234	2,215	1,373	1,904	462	900	489

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
入場車両	1,600	2,152	2,177	2,865	58,534	61,804	95%
野外炉利用者	0	0	0	408	13,219	16,575	80%

2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、操船技術、安全意識の向上に重点をおいた特殊小型船舶操縦の免許取得講習会を実施した。

(1) Maris ジェットスクールの運営事業

① 試験コース

次のとおり講習会を11回開催し、国家試験が24回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
4/7. 4/25. 5/12. 5/30. 6/9. 6/20. 7/14. 7/25. 8/18. 8/29. 9/12. 9/22. 10/10. 10/27. 11/10	特殊小型船舶操縦士 国家試験	二色の浜公園海浜緑地		64

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講 習	試 験
5/2. 8/11	Maris ジェットスクール	二色の浜公園海浜緑地	4	
5/26. 6/15. 7/11. 10/13. 11/9	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	55	
5/27. 6/16. 7/12. 10/14. 11/10	特殊小型船舶操縦士 国家試験	桐生ボートレース場		52
8/18	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	14	
8/19	特殊小型船舶操縦士 国家試験	多摩川ボートレース場		24
8/28. 29. 9/15	Maris ジェットスクール・ 特殊小型船舶操縦士 国家試験	新潟県立海洋高校	23	22
合 計			96	162

② 教員育成

一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が実施する小型船舶教習所教員初任研修にJPBOTインストラクター1名が参加した。

③ 教習体験乗船会

海洋高校のマリンスポーツ教科の一環として実施されるマリンスポーツ体験実習において、水上オートバイと小型船舶講習艇による免許教習体験を次のとおり実施した。実習ではこのほか、マリンスポーツ種目としてシュノーケリングやカヌー、SUP（スタンドアップ・パドル・ボード）等のマリンスポーツ体験が行われた。

期 日	内 容	場 所	受 講 者 数
7/18-19	教習体験乗船会	新潟県立海洋高校	80

3. マリンスポーツ施設の運営事業（収益事業3）

（1）マリンスポーツ関連施設の管理・運営

横須賀市の指定管理施設である深浦ボートパーク、浦賀ボートパークにおいて施設運営管理を行うとともに、利用者に対する安全運航に関する指導や地元自治会と協働して自然観察会、地域住民を対象としたイベントを開催し施設の活性化を図った。

① 施設を活用した事業活動

a. 浦賀マリンスポーツフェスティバル2018

実施期日 4月28日（土）

実施内容

- ・体験乗船会
- ・水辺の安全教室、
- ・稚魚の放流体験
- ・マリンスポーツデモンストレーション
- ・カヌー競技大会

参加人数 266名

b. 深浦ボートパーク・クサフグ産卵観察会への協力

実施期日 6月29日（土）

実施内容

- ・管理事務所への実施案内の掲示
- ・ボートパークHPへの情報掲載等の広報
- ・観察会受付の設置
- ・参加者への記念品贈呈（市内福祉施設手作りの「トンネルクッキー」）

参加人数 185名

c. Maris マリンアカデミーin 深浦ボートパーク

実施期日 9月30日（日）

実施計画

- ・水辺の安全ワークショップ
- ・横須賀海上保安部による水辺の安全教室
- ・ロープワーク
- ・ペットボトルレスキュー体験
- ・クルージング体験を通じての水辺の安全啓発

参加人数 台風の接近に伴い中止

d. 横須賀海の魅力再発見クルーズ

「横須賀市の海の魅力」と「船の楽しさ」を地域住民に体験・体感してもらうことを目的に、横須賀海の魅力再発見クルーズを実施した。

実施期日 4月～10月の第1日曜日

実施内容 ・横須賀の観光名所等を海から巡るコースを策定
・深浦ボートパークを起点するクルージングの実施(財団所有艇にて)

実施回数 6回(※7月分は悪天候により中止)

参加人数 37名

② 施設利用数

(平成31年3月31日現在)

	深 浦	浦 賀	計	前年度
係留船舶数	101 隻	57 隻	158 隻	154 隻
駐車場利用台数	12,625 台	3,330 台	15,955 台	15,374 台

Ⅲ その他継続事業

各種マリンスポーツ競技団体や、全国各地の Maris クラブに対し、活動への支援・協力を行った。

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

(1) 普及、啓発活動への支援、協力

マリンスポーツの健全な普及を図るための活動に対して支援を行った。

① 競技団体に対する運営支援

支援内容	支援先
運営支援	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWWF)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワーボート協会 (JPBA)
運営協力	日本アマチュアボートレース連盟 (JABF)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSHA)

② 支援競技団体が実施した競技会

a. (特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟、全日本学生水上スキー連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
8/31-9/2	第 63 回桂宮杯	秋田県大潟村	(9 大学)	(9 大学)
	全日本学生水上スキー選手権大会	(大潟村水上スキー場)	173	180
9/14-17	第 64 回桂宮杯	大分県耶馬溪村	79	78
	全日本水上スキー選手権大会	(耶馬溪アクアパーク)		
合 計			252	258

b. 日本ジェットスポーツ連盟

(a) 全日本選手権シリーズ戦 (クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/14-15	第 1 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	63	99
5/26	第 2 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	71	89
5/27	第 3 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	86	107
6/23	第 4 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	71	86
6/24	第 5 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	103	96
7/21	第 6 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	70	91
7/22	第 7 戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	103	112
9/23-24	第 8 戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	65	118
合 計			632	798

(b) フリースタイル全日本選手権シリーズ

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
5/13	第1戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	10	8
7/14-15	第2戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	16	11
9/15-16	第3戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	6	12
11/24-25	第4戦	千葉県千葉市(フェスティバルウォーク蘇我)	18	6
合 計			50	37

※前年度全5戦の合計は50名

c. 日本ソーラー・人力ボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
8/25-26	全日本選手権大会2018	愛知県碧南市 (日本MB選手会常設訓練所)	16	18

d. 日本パワーボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
5/19-20	2018日本グランプリパワーボートレース in 小豆島	香川県 小豆郡	41	57
5/19-20	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2018 ROUND 2	香川県 小豆郡	6	9
5/27		愛知県 蒲安市	6	
6/10	TOPS 2018 サーキットレース ROUND 1	茨城県 神栖市	13	23
6/24	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2018 ROUND 3	愛知県 蒲安市	10	6
7/22	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2018 ROUND 4	愛知県 蒲安市	8	6
8/5	TOPS 2018 サーキットレース ROUND 2	茨城県 神栖市	15	-
9/15-16	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2018 ROUND 5	大阪府 貝塚市	7	8
10/14	TOPS 2018 サーキットレース ROUND 3	茨城県 神栖市	15	19
12/2	芦ノ湖グリーンカップモーターボートレース	神奈川県 箱根町	54	57
合 計			175	185

e. 日本アマチュアボートレース連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/15	2018 関東支部K400 第1戦	桐生ボートレース場	23	30
5/13	2018 関東支部K400 第2戦	桐生ボートレース場	30	30
5/27	第22回淡路島ちどり賞競走 第1戦	兵庫県 浦壁大池	36	30
6/10	2018 関東支部K400 第3戦	桐生ボートレース場	30	30
9/16	2018 第12回K400 九州地区選手権競走	唐津ボートレース場	30	-
10/12	第18回東海グランプリ	常滑ボートレース場	30	30
10/21	K400 四国支部第1回 渦の王者杯競走 第1戦	兵庫県 浦壁大池	30	-
11/25	チャリティーレース	兵庫県 浦壁大池	24	-
合 計			233	150

- (3) マリンスポーツ団体に関連する競技者、資格者、競技艇等登録の推移
 当財団支援団体の競技者等登録状況は、【参考資料】(P.23) のとおりである。

(4) Maris クラブへの支援

① サンクスマリナー21支援事業

a. Maris クラブの主催事業への支援

期 日	行事名称	開催場所	参加者数
5/26-27	マリンスポーツフェスティバル in あいおい	兵庫県相生市	424
6/1-2	横浜開港祭キッズボート体験乗船会	神奈川県横浜市	216
7/8	THE 祭 (体験乗船会を主管)	北海道砂川市	荒天中止 (台風)
7/15	マリンフェスタ in 小樽 (体験乗船会を主管)	北海道小樽市	荒天中止 (台風)
7/28-29	マリンスポーツフェスティバル in いわき	福島県いわき市	405
7/29	ウォーターフェスタ in 小見川	千葉県香取市	荒天中止 (台風)
8/5	浦臼 夏の味覚まつり (体験乗船会を主管)	北海道浦臼町	218
合 計			1,263

b. ボランティアネットワーク

(Maris クラブの登録・認定)

登録番号	クラブ名	会員総数	新規会員	認定年月日
1	Maris クラブ 東 京	18	-	2002年05月02日
2	Maris クラブ 和歌山	24	-	2004年06月17日
3	Maris クラブ いわき	20	-	2004年08月13日
4	Maris クラブ 千 葉	11	-	2011年02月24日
5	Maris クラブ 柏 崎	10	-	2003年12月25日
6	Maris クラブ 大 阪	10	-	2004年01月07日
7	Maris クラブ 愛 知	12	-	2006年06月01日
8	Maris クラブ 広 島	10	-	2004年09月07日
9	Maris クラブ 相 生	18	-	2004年09月07日
10	Maris クラブ 湘 南	16	-	2004年09月14日
11	Maris クラブ 淡路島	10	-	2004年09月14日
14	Maris クラブ 北海道	12	-	2007年11月07日
16	Sea Net 浜松	-	-	2015年06月02日
計		171	0	

第 2 章 組 織

1. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を4回、評議員会を3回開催した。

(1) 理事会

回	期 日	場 所	議 題
第 17 回	平成 30 年 6 月 11 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 平成 29 年度事業報告及び決算報告（案）の承認について (2) 次期会長、理事長、常務理事の選出について (3) 定款の一部変更（案）について (4) 規程の一部改正（案）について (5) その他緊急を要する件
第 18 回	平成 30 年 7 月 23 日	書面決議	(1) 平成 30 年度収支予算の一部変更（案）の承認について
第 19 回	平成 31 年 2 月 19 日	書面決議	(1) 第 15 回評議員会の開催について
第 20 回	平成 31 年 3 月 22 日	笹川記念会館 4 階第 4 会議室	(1) 2019 年度事業計画及び予算（案）並びに付帯決議案の議決について (2) その他緊急を要する件について

(2) 評議員会

回	期 日	場 所	議 題
第 13 回	平成 30 年 4 月 11 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 任期満了に伴う次期役員（理事、監事）の選任について (2) その他緊急を要する件
第 14 回	平成 30 年 6 月 27 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 平成 29 年度事業報告及び決算報告（案）の承認について (2) 定款の一部変更（案）の議決について (3) 規程の一部改正（案）の議決について
第 15 回	平成 31 年 3 月 22 日	笹川記念会館 4 階第 4 会議室	(1) 評議員の補充選任について (2) その他緊急を要する件について

2. 役員等の動向

平成31年3月22日開催の第15回評議員会において、当財団の元顧問金子光夫氏が評議員に選任された。

平成31年3月31日現在の役員、評議員は別表1. 2(P.22)のとおりである。

3. 監査

本年度の監査は、次のとおり実施された。

期日	実施者	場所	内容
平成30年6月4日	当財団監事	当財団会議室	平成29年度事業報告及び決算

4. 関係団体との交流

本年度は、関係団体の式典、会議等に役職員が出席し、これらの団体との交流、業界の情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

(1) 関係団体

会議等名	出席回数	内容
表彰式典等	4	ボートレーサー養成所入所式及び修了式1回、社会貢献者表彰式典2回、優秀選手表彰式典1回

(2) 官庁・海事関連団体等

主催団体	出席回数	会議内容
国土交通省	4	UMI協議会
海上保安庁	4	遊泳事故、PWCに係る意見交換会等
消防庁	4	動力ボート活用による救助技術の高度化検討会
日本マリン事業協会	3	PWC部会、BJ連絡調整会議
地方自治体	3	水域利用者等協議会

5. 環境に配慮した活動

環境に配慮した事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを図るとともに、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

6. 職員等の動向

年度末における職員数は8名、契約職員1名、職域職員3名、嘱託3名、臨時職員25名であった。また平成30年10月31日付にて常勤顧問1名が退任した。

別表. 1

役員名簿（第4期）

平成31年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
会 長	笹 川 堯	
理 事 長	笹 川 善 弘	
常務理事	岡 村 一 臣	
理 事	松 木 勇	元 ヤマト発動機株式会社 相談役
理 事	中 島 敬 夫	株式会社三益産業 代表取締役
理 事	野 口 旭	元 東京都モーターボート連盟 会長
監 事	竹 内 清 治	元 財団法人競艇振興センター 会長
監 事	大 濱 秀 夫	株式会社新東通信

任期：平成28年6月24日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(令和2年6月)

別表. 2

評議員名簿（第2期）

平成31年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
評 議 員	梶 原 義 明	元 財団法人日本科学協会 常務理事
評 議 員	笹 川 和 弘	群馬県マリンスポーツ連盟 会長
評 議 員	本 間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟 会長
評 議 員	関 田 宏	元 ヤマト発動機株式会社 常務取締役
評 議 員	北 田 靖 則	公益財団法人献血供給事業団 理事長
評 議 員	糸 川 正 晃	元 衆議院議員
評 議 員	金 子 光 夫	元 公益財団法人マリンスポーツ財団 顧問

任期：平成28年6月24日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(令和2年6月)

参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況

(1) モーターボート競技関係

① 新規登録者の推移

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
選 手	15	17	24	37	14

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
選 手	40	28	44	54	8

② 選手・競技艇等の登録状況推移

（選手の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
選 手	193	223	211	239	248

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
選 手	271	245	246	219	249

（公認競技員、登録検査員の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公 認 競 技 員	34	34	30	29	27
登 録 検 査 員	27	29	26	23	23
合 計	61	63	56	52	50

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公認競技員	61	56	53	47	56
登録検査員	21	23	23	20	26
合 計	82	79	76	67	82

(競技艇の登録隻数)

サーキット・オフショア (日本パワーボート協会)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
OFF シリーズ	26	30	37	39	41
V シリーズ	28	32	37	36	32
F シリーズ	31	35	33	36	38
ハイドロシリーズ	8	8	4	8	8
S シリーズ	1	1	1	1	1
アクアバイク	—	—	1	8	27
合 計	94	106	109	128	147

K400クラス (日本アマチュアボートレース連盟)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
K400	133	137	110	115	123

(2) 水上スキー競技関係

① 会員等の登録管理

(会員の登録者数)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一 般	254	193	212	106	205
学 生	225	255	299	294	294
ジュニア	19	25	22	22	19
合 計	498	473	511	422	518

(ジャッジ、ドライバーの登録者数)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ジャッジ	151	156	156	221	213
ドライバー	100	121	121	196	134
合 計	251	277	277	417	347

(3) ジェットスポーツ競技関係

① レーシングライセンス講習会

(新規選手講習会の受講者数)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
選 手	8	7	9	7	3

(選手の登録者数)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
プロ級	62	61	54	54	57
A 級	58	62	88	53	41
B 級	42	37	40	33	24
フリースタイル級	17	8	17	19	15
合 計	179	168	199	159	137

(競技員、検査員の登録者数)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
競 技 員	17	12	13	8	8
検 査 員	32	31	33	23	21
合 計	49	43	46	31	29

(競技艇の登録隻数)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
スキーディビジョン	88	60	41	31	24
スポーツディビジョン	16	5	5	7	4
ランナバウトディビジョン	21	14	20	14	3
ランナバウト1200	2	0	3	0	1
ランナバウト1600	28	31	24	30	27
合 計	155	110	93	82	59

平成30年度事業報告書は、以上のとおりです。

平成31年3月31日

会 長 笹 川 堯 印

平成30年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり
事業が完了したことを認めます。

令和元年 月 日

監 事 竹 内 清 治 印

監 事 大 濱 秀 夫 印